

# ファーマー日記 ～北海道『えづらファーム』～

脱サラし北海道に移住。畑作農家として新規就農しました。

## 記事一覧

### ◆ 仕切り直しの移住10年 ◆

2019/01/16 21:43

えづらファームの妻です。

最近ブログを更新していないな…

と思っていたら、何と2年近くも書いてませんでした。びっくり。

今年は、原点に戻って、もっと書いていきたいなと思います。

### 2019年3月で北海道に移住して丸10年！

東京でのサラリーマン生活に終止符をうち、  
農家になることを目指して北海道に移住してから  
丸10年がたとうとしています。

28歳だった私も、もうすぐ人生の折り返し地点に。

## プロフィール

No Image

Author:Ezura Farm

【私たちについて】

30歳目前で東京でのサラリーマン生活に終止符を打ち、北海道に移住。3年間の研修を経て、2012年4月、夢であった「北海道での就農」を実現した脱サラ新規就農夫婦です。

【事業内容】畑作経営、インターネットでの作物の直売、農家民宿「えづらファーム」の経営、農業体験・住み込みボランティア・アルバイトの受け入れ、小麦細工「ヒンメリ」の企画・生産・販売、農作業

## 「都会の人に農業は無理」 「嫌になって東京に戻るのでは？」

と言われることも多かった私たちですが、  
移住後、分からないことだらけの中、3年間の農業研修を得て、  
2012年にオホーツク地方・遠軽町白滝で、無事に「えづらファーム」を設立。

## 「独立したはいいけど食べていけるの？」 「離農するのでは？」

とたくさんの方に心配をかけながらも  
42ヘクタール（東京ドーム約9個分）の農地で経営を続け7年が経ちました。

この大規模農業を支えてくれているのは、  
地域の人はもちろん、少しずつ増えてきた学生を中心とした住込みボランティア。  
去年は入れ替わりで合計70名を受け入れ、共に暮らし働いています。

## 「こんな田舎にお客さんが来るわけがない」 「本業がおろそかになるのでは？」

と、親戚すら不安になった2015年の農家民宿開業。  
地域に農家民宿がなかったので、はじめはオープンしただけで注目されたりして、  
まだ実績もないのになぁ・・・と戸惑いも感じていたのですが、  
昨年2018年は、のべ450人（海外3割）のお客様をお迎えすることができました。  
さすがに「事業のもうひとつの柱」と言える段階に来れたかなと思っています。

官直で感じて・・・10年間の積み重ね

【場所】北海道紋別郡遠軽町白滝

【面積】約42ヘクタール（東京ドーム約9個分）

【作物】馬鈴薯、小麦、スイートコーン、  
甜菜、ブロッコリーなど

【ホームページ】<http://www.ezurafarm.com/>

## 最新記事

第10回「わが村は美しくー北海道」優秀賞  
受賞！（03/06）

◆ 第15回じゃがりンピック！ ◆ (02/24)

◆ 春の植え付け終了！！ ◆ (05/28)

◆ 春先の 仕事と 暮らしと 遊び ◆  
(03/25)

◆ 住込みボランティアの これまでとこれから ◆ (03/08)

## カテゴリ

未分類 (10)

農業について (70)

農作業 (112)

夫の記事 (37)

ここまで来るまで、この10年間、どんなことがあったのか…。  
何に笑って、何に泣いたか…。  
もちろん書ききれませんが、  
2枚の写真で少しでも感じていただければと思います。

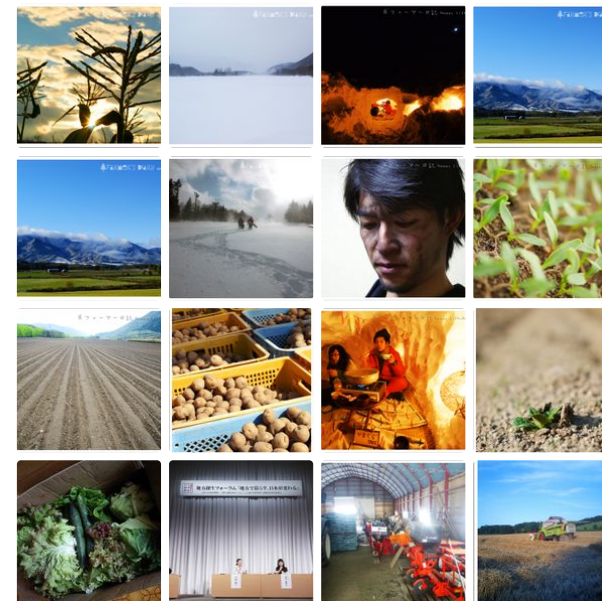
## 2008年夏@北海道



結婚前、就農先の候補として、北海道に来た時の写真。

妻の記事 (59)  
田舎暮らし (113)  
妻の記事 (1)  
(17)  
(0)  
小麦 (3)  
旅行記 (1)  
農家民宿 (1)

## フォトギャラリー



## 月別アーカイブ

2022/03 (1)  
2020/02 (1)



## 2018年夏@北海道



上の写真から10年後、JAグループ北海道のテレビCMの1コマ。

## 「人間は、“無視・賞賛・非難”という段階で試されている」

(【野村の流儀】より)

この10年間、ときどき思い出して支えにしてきた、  
野球に詳しくない私でも知っている野村克也さんの言葉です。

野球のプロを育てる為の指導についての言葉なので、  
これを農家になることに当てはめての、私なりの解釈ですが…。

2019/03 (2)

2019/02 (1)

2019/01 (2)

2017/04 (1)

2017/02 (1)

2016/09 (1)

2016/06 (1)

2016/05 (1)

2016/03 (3)

2016/02 (1)

2016/01 (3)

2015/12 (2)

2015/11 (1)

2015/10 (3)

2015/07 (1)

2015/06 (2)

2015/05 (2)

2015/04 (2)

2015/03 (6)

2015/02 (2)

2015/01 (4)

2014/12 (2)

2014/11 (2)

2014/10 (1)

2014/09 (3)

2014/08 (4)

2014/07 (2)

はじめはまず、相手にしてもらえない。

10年前に私たちが言われた「都会の人に農業は無理」という門前払いに近い言葉も、当時の写真を見たら、「そりゃ言われるわ…」という印象を受けた方も多いのではと思います。

少なくとも、私はそう感じました(笑)

当時は「本気なのになんで!？」と思ってたけど・・・

今私が10年前の私の姿を見たら、見た目で判断して「農業なめるなー!」とか、もしくは親心で、「あなた、都会の方が合ってるわよ」って言ってしまいそうです。

ここで私たちが人から、地域から、農業界から試されていたのは「本気と覚悟」だったのだと思います。

それは、本当に地道なことでした。

毎朝早く起きる、単調な農作業を黙々と続ける、人に会ったら挨拶する、地域の行事に参加する…etc.

そして10年経った今、少なくとも私たちが「きまぐれや甘い気持ちで農業に取り組んでいる」と思う人は

ほとんどいなくなったのではないかと思います。

**田舎では、すぐに目立ち、褒められる。**

もともと人の少ない田舎ですから、

人と違ったことに取り組み、それが本気だと認めてもらえたら、賞賛の言葉をいただく機会は、普通より多いと感じています。

トピックが少ないので、地方紙や業界誌に取り上げてもらえるチャンスも多く

2014/06 (3)

2014/05 (4)

2014/04 (7)

2014/03 (4)

2014/02 (4)

2014/01 (4)

2013/12 (4)

2013/11 (3)

2013/10 (8)

2013/09 (3)

2013/08 (4)

2013/07 (6)

2013/06 (5)

2013/05 (4)

2013/04 (11)

2013/03 (14)

2013/02 (4)

2013/01 (6)

2012/12 (4)

2012/11 (4)

2012/10 (7)

2012/09 (1)

2012/08 (6)

2012/07 (7)

2012/06 (5)

2012/05 (6)

2012/04 (10)

“北海道の農業界”に限定すれば、存在を知ってもらうのはそんなに時間はかからないかもしれません。

2017年には北海道の2大農業賞である

「HAL農業賞 チャレンジ賞」と「コープさっぽろ農業賞 優秀新規就農者賞」を受賞させていただきました。

公の場で農業者として認めてもらうことができるなんて…。とても嬉しく、報われる思いでした。

何か新しいことを始めようとしても、協力してくれる方も昔より増えました。

このまま、自分たちのことを好きでいてくれる人とだけ付き合い、自分で決めた安全な枠の中で過ごしていけば、成功した新規就農事例の1つとして、私たちの小さな自信とプライドを保ったまま気持ち良く幕を閉じることできる気がしています。

でも、野村監督の言葉を借りれば、今は「賞賛」により、前以上に自分たちが試されている段階なのだと思います。

それは、本当に自分たちの能力なのか。  
まわりの人々の支えに本当に気づいているのか。  
狭い世界を全てと思うことで、傷つかない道を選んでいるのではないのか。  
そして、農家として最も大切なパートナーである、配偶者や家族を本当に大切にしているのか。

40代を目前にして、年齢的にも、ここは分かれ道なのだと感じます。

最近目にしたコピーライターの糸井重里さんが40歳に向けたメッセージ

**「ゼロになって、ちゃんともがく。」**

にも、40歳で今まで積み上げたもののトに陥りつづけるのか

2012/03 (7)

2012/02 (8)

2012/01 (3)

2011/12 (7)

2011/11 (3)

2011/10 (7)

2011/09 (5)

2011/08 (8)

2011/07 (12)

2011/06 (4)

2011/05 (8)

2011/04 (12)

2011/03 (7)

2011/02 (9)

2011/01 (10)

2010/12 (9)

2010/11 (8)

2010/10 (10)

2010/09 (8)

2010/08 (10)

2010/07 (9)

2010/06 (8)

2010/05 (7)

2010/04 (6)

2010/03 (4)

2010/02 (3)

2010/01 (2)

意識して自分をふりだしに戻しめがくのか、  
その選択が分かれ道だと書かれていました。

そして、原点にもどりまっさらな状態で新しい挑戦をすること選ぶとき、  
私たちは次の段階「非難」に進むことができるのだと思います。

## 10年がたち、仕切り直して“これから”へ

これからの10年間は、良い意味で、今までの10年間を「なかったことにして、仕切り直す」  
ことが必要なのではと思っています。

本気であることが伝わったのだから、もう褒められなくても十分なはず。

これからは、今まで以上に自分たちの知らない領域に挑戦して、  
自分たちが、まだまだ全然たいしたことないってことを、思い知っていこう。

認めてもらえるのは自分達の努力じゃなく、  
支えてくれた身近な人たちのおかげだってことを、改めて知っていこう。

そして、“北海道の農業界”の枠を超えて次の段階へ進めば、  
そこには今まで経験しなかった「非難」が待っているかもしれません。

そこで試されるのは、最終的にはシンプルに

### 「私たちの信じる道」

そして、その困難を乗り越える為の

「信じる道」

2009/12 (4)

2009/11 (2)

2009/10 (3)

2009/09 (3)

2009/08 (3)

2009/07 (2)

2009/06 (8)

2009/05 (10)

2009/04 (4)

訪問者数

 30173 

なのだと思います。



ツイー

いいね！ 2

## スポンサーサイト

★「老後の保証人がいなくて困っています…」

Sponsored/一般社団法人 終活協議会

★「老後の保証人がいなくて困っています…」

Sponsored/一般社団法人 終活協議会

カテゴリ:農業について

雪あめ作り

◆ 6年目の春の訪れ ◆



## 検索フォーム

## QRコード



## RSSリンクの表示

[最近記事のRSS](#)[最新コメントのRSS](#)

## リンク

[管理画面](#)[このブログをリンクに追加する](#)

## ブロとも申請フォーム

[この人とブロともになる](#)